

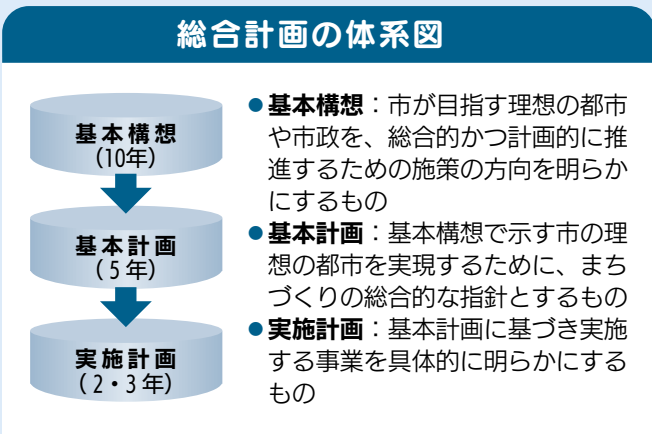
新しい苦小牧市総合計画について

総合計画とは

総合計画とは、これからの苦小牧市をどのようなまちにしていこうかという「まちづくり」の長期的な目標や基本的な考え方を示す、市にとって基本となる一番大切な計画です。市民の皆さんが住み続けたいと思うまちを実現するために、何をすべきかを明らかにするものです。

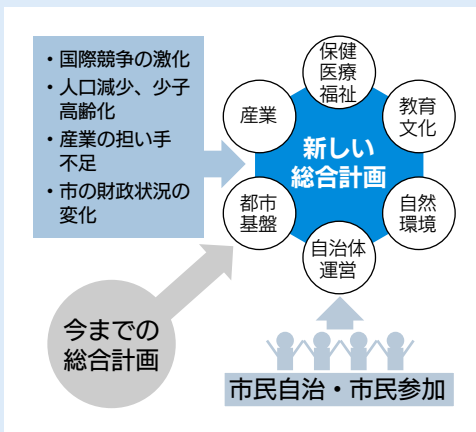
現在の総合計画の計画期間が平成29年度に終わるため、平成30年度以降のまちづくりの指針として、新しい総合計画を策定します。

総合計画の体系



総合計画策定の目的・経緯

市を取り巻く社会情勢は、国際競争の激化、人口減少・少子高齢化の同時進行、産業の担い手不足など、絶えず変化しています。こうした時代の変化に柔軟に対応するため、市民自治によるまちづくりの原則の下、各分野で何に取り組むかを検討し、作り上げられるのが総合計画です。



市は、人間を主体とした、公害のない、健康で安全な都市環境の創造

▼ 詳細政策推進課 03(2)6039

総合計画は、市が目指す理想の都市や施策の方向を示す「基本構想」と、基本構想の実現を図るために定める「基本計画」、基本計画の実施に関する「実施計画」の三層構造になっています。時代の変化に対応するため、三層を長期・中期・短期の期間で段階的に体系化しています。

現在、この基本構想に基づく、第5次基本計画改定版と実施計画に沿って、市政を総合的かつ計画的に進めています。

を指し、昭和48年に人間環境都市宣言を行い、理想の都市像を「人間環境都市」とした基本構想を策定しました。その後、「人間環境都市」を継承し、昭和63年には、21世紀初頭を目標として、産業構造や価値観の変化に対応した基本構想の改定を行いました。平成19年には、平成29年度を目標として、近い将来到来する人口減少時代を想定したまちづくりに転換するため、基本構想を改定しました。

総合計画（基本構想）策定の経緯

基本構想の内容		
目標時期	理想の都市	人口の想定
昭和60年代	人間環境都市	35万人
21世紀初頭		おおむね25万人
平成29年度		おおむね17万人
平成39年度(2027年度)		おおむね16万人台後半

時代に対応した計画づくり

〈人口減少を背景とした計画づくり〉
平成25年をピークに市が人口減少

もくじ



©2011 苦小牧市

市政トピックス

新しい苦小牧市総合計画について

特集Ⅰ

世界とつなぐ友情の輪
こども国際交流事業

特集Ⅱ

平成30年4月から国保制度
が変わります

市政トピックス

転入・転出届や各種証明書の
申請をするときは

健康ガイド

健康教室／健康相談 ほか

お出かけガイド

カルチャーガイド

市からのお知らせ

健康／暮らし／福祉／相談
／催し・講座／スポーツ

ふくし大作戦!!! 2017
とまちヨップポイントガ
イド

市政トピックス

CCS講演会「地球温暖化
とCCS」ほか

みんなのひろば

とまこまい日記／編集後記
ほか

27
ページ

26
ページ

25
ページ

14
ページ

12
ページ

10
ページ

8
ページ

6
ページ

4
ページ

2
ページ